



## 北京市 初の輸入性ジカウイルス感染者を確診

中国教育网络电视台 jk.centv.cn 2016-05-16 15:47:15 来源: 北京青年报

記者が昨日北京市衛計委から得た情報では、北京市は、昨日、初の輸入性ジカウイルス感染患者を確診したとのことだ。患者は、29歳の中国籍女性で、05月13日にベネズエラから入国時のスクリーニングにより、ジカウイルスへの感染が疑われることとなった。

市衛計委の通報によれば、この29歳の中国籍女性は、山東省煙台人で、煙台市の某企業の職員だ。患者は、2016年04月にベネズエラ入りし、現地時間の05月11日に少量の皮疹を伴う発熱が現れ、13日(北京時間)に航空機で帰国、14日未明に北京首都空港に到着。入国時、空港入出国検閲防疫部門のスクリーニングにより、ジカウイルス感染が疑われたため、即座に入院治療をうけているが、現在患者の症状は安定しているとのことだ。

昨日(05月15日)、患者の関連サンプルが北京市CDCでの初回検査や中国CDCでの再検査を経て、患者の唾液と尿サンプルからジカウイルス陽性反応が出、北京市衛生計生委の市級専門家グループが会診、患者の疫学史や臨床症状をもとに、実験室での検査結果と合わせて当該患者を輸入性ジカウイルス感染者であると診断した。

情報によると、これ以前に、北京市衛生計生委は専門家を組織して輸入性ジカウイルス患者が持ち込む伝播リスクのアセスメントを行った際、専門家たちは、「ジカウイルスは蚊が媒介する感染症で、主にシマカに刺されることで感染するものであり、北京市ではシマカが見つからないことから輸入性患者がさらに感染を拡大させるリスクは比較的低い」としている。

現在、北京市衛生計生委は関連の診療方案及び予防管理に関する要求に基づき、全力で患者の治療に当たっており、更に各項予防管理措置を実施している。疫学調査や防蚊の緊急モニタリング、愛国衛生運動、健康教育なども実施されている。

同時に、個人の健康防護の角度から考えて、市衛生計生委は多くの市民に対し、ジカウイルス感染症が流行している国家には暫らく渡航を控えるようにと警告している。

[http://jk.centv.cn/2016/jiankangzixun\\_0516/14086.html](http://jk.centv.cn/2016/jiankangzixun_0516/14086.html)

..... 以下は中国語原文 .....

## 北京确诊首例输入性寨卡病毒病例

中国教育网络电视台 jk.centv.cn 2016-05-16 15:47:15 来源: 北京青年报

记者昨日从北京市卫计委了解到，北京昨日确诊首例输入性寨卡病毒病例。患者为一名29岁中国籍女性，其于5月13日从委内瑞拉入境时被初筛为疑似寨卡病毒感染。

根据市卫计委通报，此例病例为一名29岁中国籍女性，山东省烟台市人，为烟台市某公司职员。患者于2016年4月前往委内瑞拉，当地时间5月11日出现发热、伴有少量皮疹，13日(北京时间)乘机回国，14日晨抵达首都机场。入境时，机场出入境检验检疫部门经初筛，考虑其疑似寨卡病毒感染，随即收入院治疗，目前患者病情稳定。

昨日，患者相关标本经北京市疾控中心初检、中国疾控中心复核，该患者唾液、尿液样本寨卡病毒检测阳性，北京市卫生计生委组织市级专家组会诊，根据患者流行病学史、临床表现，结合实验室检查结果，诊断该患者为输入性寨卡病毒病例。

据了解，此前，北京市卫生计生委组织专家对输入性寨卡病毒病例带来的传播风险进行了评估。专家认为，寨卡病毒属于蚊媒传播疾病，主要通过埃及伊蚊叮咬感染。北京市监测无埃及伊蚊，因此输入性病例引发传播并进一步扩散的风险较低。

目前，北京市卫生计生委正按照相关诊疗方案和防控要求，部署全力救治患者，进一步落实各项防控措施，做好流行病学调查、蚊媒应急监测、爱国卫生运动、健康教育等工作。

同时，从个人健康防护角度考虑，市卫生计生委提醒广大市民，近期谨慎前往发生寨卡病毒病疫情国家。